

《ONLINE》カンボジアSDGs研修

研修日程 2022年9月3日(土)～9月10日(土)8日間

SDGsを知る

- ①ワークショップを通して理解を深める
- ②カンボジア社会起業家からお話を聞く

世界の社会課題を調べる

- ③社会起業家にインタビュー
- ④カンボジア人学生と情報・意見交換

自らのSDGs目標を計画・実行

- ⑤「社会問題シート」作成、取組みたい事を計画する
- ⑥研修1カ月後、「活動報告書」をFacebookで発表する

GOAL

世界の社会問題を理解し、
自らのSDGsへの取り組みたい事を
計画・実行する。

1.

SDGsを知る

ワークショップを通して
理解を深める [SDGsカンボジア社会問題セミナー]



【ソーシャルマッチ:金 愛月さん】
SDGsの17の目標をわかりやすく解説し、SDGsの達成状況からわかる日本やカンボジアの社会問題について解説いたします。学習ノートもあるので、SDGsについてあまり分からない方でも理解しやすい内容になっています。

3.

世界の社会課題を調べる

社会起業家にインタビュー
[キャリアフォーラム]



【インタビュー:樋口麻美(20代/女性)】
東南アジアで社会問題解決に取り組む社会起業家と日系企業・個人をマッチングするサービスを展開するソーシャルマッチ株式会社を設立し、取締役副社長を務める。
※他、日本人・カンボジア人社会起業家が日本人大学生10名に対して1名参加のゲストを予定。

5.

自らのSDGs目標を計画・実行

「社会問題シート」作成、
取組みたい事を計画する

社会問題調査シート(例)

項目	内容(例)
社会問題テーマ	教育問題
対象国	カンボジア
SDGs番号	4
現状を表すデータ	2018年度の小学校卒業率は、男子が76.1%、女子が83.5%で全体は79.7%。2019年度に学校に通っていない子どもの統計は約19万人で、2015年以降毎年急増している(引用: UNESCO http://uis.unesco.org/en/country/kh)
社会問題背景	過去の内戦時代に多くの人が建設された教育機会がなかったこと
関心を持った理由	教育問題を改善すると就職できたり貧困の連鎖を断ち切ることができる
現在の社会問題に取り組む企業や団体	・国際協力NGOワールド・ビジョン・ジャパン チャイルドスポンサーは、月々4,500円、1日あたり150円の継続支援。支援金は子どもを取り巻く環境を改善する長期的な支援活動に使用される。
自分がどのように関わるのか	・チャイルドスポンサーに参加する ・カンボジアのスタディーツアーに参加して現状をより理解する

国際経済実践演習(2単位認定)



2.

SDGsを知る

カンボジア社会起業家から
お話を聞く [カンボジア社会起業家セミナー]



【カンボジア社会起業家:チャンタ氏】
カンボジアのコミュニティの人々を積極的に雇用して、トレーニングを行い、銃弾を使用したアクセサリーを制作・販売をしている。団体創設者のチャンタ氏のお父様を内戦で亡くし、そのために平和の継承を目的に、銃弾を使用したアクセサリーを制作しています。

4.

世界の社会課題を調べる

カンボジア人学生と
情報・意見交換 [学生フォーラム]



ブノンベン王立大学日本語学科学生を中心に、日本語と英語を使って情報・意見交換を行い「世界の社会課題を調べる」ディスカッションを行います。日本語を織り交ぜての会話ですので、英語が苦手でも問題ありません。

6.

自らのSDGs目標を計画・実行

研修1カ月後、「活動報告書」を
Facebookで発表する



説明会日時:6/1 (水) 12時40分～13時10分
場所:経済学部ゼミ室1(1号館7階)



2022年9月3日(土)～9月10日(土)8日間

Schedule

講座名	日程	手段	内容(変更する場合があります)
Day1	9月3日(土) 10:30～18:00	Zoom・SNSなど	●SDGsカンボジア社会問題セミナー 「SDGs解説」「SDGsの達成状況からわかるカンボジアの社会問題」・「カンボジアの内戦」など ●カンボジア社会起業家セミナー ●カンボジア・日本の社会問題のまとめ
Day2	9月4日(日) 10:30～18:00	Zoom・SNSなど	●[キャリアフォーラム]社会起業家にインタビュー カンボジア社会問題に取り組む日本人およびカンボジア人を囲んで ●[学生フォーラム]カンボジア学生と情報・意見交換
5日間	9月5日(月)～9日(金)	Zoom・SNSなど	●カンボジア人学生と一緒に世界の社会問題を調査し、DAY3「最終プレゼン」に向けて チーム活動 ※2～3時間程度/日 日時・スケジュールはチーム単位で決定
Day3	9月10日(土) 10:30～18:00	Zoom・SNSなど	●プレゼンテーション準備 ●最終プレゼンテーション ●研修全体の振り返り

●1ヶ月後「活動報告書」をFacebookで発表

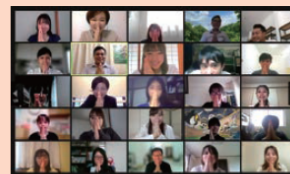
※詳細は変更になる可能性があります。

Day2～Day3 (5日間) [社会問題調査 PROJECT]

**世界の社会問題をチームにて調査し、
取り組みたい事を計画し、発表する。**

事前課題である「世界が現在抱えている社会問題を考える」「その社会問題に自分ができること」と、考えを共に整理しチームごとに発表頂きます。

カンボジア人学生と共に、チームごとに分かれて社会問題を考えます。



※写真はイメージです。

流れ

チームで分野担当を分けて、カンボジア・日本そして世界の社会問題を調査する。

チームで調査した社会問題を共有する。

チームで調査した社会問題の中からチームで(自分が)取り組みたい社会問題を決める。

「社会問題シート」を作成し、取り組みたい事を計画する。

研修1ヶ月後、「活動報告書」をFacebookで発表する。

5日間自主活動(例)

- [1日目]日本の社会問題を各メンバー1つ以上調査
- [2日目]カンボジアの社会問題を各メンバー1つ以上調査
- [3日目]そのほかの国の社会問題を1つ以上調査/プレゼン準備
- [4日目]3日目までに準備したものの中から最終的な「国やテーマ」を絞り込む
- [5日目]翌日のプレゼンの準備を行う

PROJECT構成

- 【チーム構成】日本人学生4、5名+カンボジア人学生(日本語スピーカー)
- 【期間】DAY2～DAY3(5日間)
- 【詳細】チームで取り組む社会問題の国は、指定しない。カンボジアでも日本でもそれ以外の国でも。
- 【ゴール】世界の社会問題を理解し、自らのSDGsへの取り組みたい事を計画する。

参加資格：経済学部生（語学力など不問）、全日程参加できる学生

定員：10名（最低実施人数：他大学含め計20名）

単位：国際経済実践演習 2単位

申込方法：申込書を経済学部事務室前レポートボックスに提出

申込〆切：6月10日(金) 17時まで

費用：無料（修了する事を条件に、参加費は学部が全学負担します）

使用ツール：Zoom・Google classroom・Google Formなどのツールなど